

講演

金融リスクの計量化 統計学の思想

東京大学名誉教授 楠岡 成雄

(2015年10月31日 JARIP 研究発表大会 会長講演)

司会 今回は発表本数が例年に比べまして非常にたくさんいただいております、通常ですと、会長講演は朝一で行わせていただくわけですが、今回は、そうしたスケジュールの関係で、午後一番、これからやらせていただきます。

それでは、日本保険・年金リスク学会会長であります楠岡先生より、会長講演を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

楠岡 楠岡でございます。今日は時間もないので、早速、始めます。

たしか去年の今頃は、黒田バズーカか何かが炸裂して、その話をしたのですが、今年もそれがあるかなと思ったら、どうもありませんでした。これからどのようになるかは分かりません。3年前の2012年に「確率とは何か」ということについて講演させていただきました。そのときは時間の関係で「統計学とは何か」という部分の話ができませんでした。ここは非常に私の独断と偏見に基づく考え方ではありますが、統計学について話をする事でこの話題を完結させたいと思います。(なお、この講演録では紙面の余裕があるということで、若干のスライドを追加すると共に、講演で触れなかったことも書き足してあります)

- 2 -

2012年講演

確率とは何か

様々な見解

限定的な考え方 von Mises, 丸山儀四郎

中間的な考え方 F.Knight

すべてに確率を問えるという考え方 Keynes

主観確率の考え方 de Finetti, Savage

客観確率・主観確率に関する哲学的論争